

第9回 信州の社長・トップに聞く 報告書

(2007年5月22日～6月25日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	3
III	今回のポイント	8
IV	単純集計	12
VI	調査票	15



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆ 調査の目的

「信州の社長・団体トップに聞く」第9回調査は、参院選を目前にした波乱含みの政局の渦中で行われる。昨年秋、小泉純一郎政権を引き継いだ安倍晋三内閣は「戦後レジーム（体制）からの脱却」を掲げて改正教育基本法、国民投票法の成立へと踏み込み、憲法改正を争点に据えている。

しかし、その足もとでは、社会保険庁の5000万件にのぼる「年金記録の不備」問題が噴出。閣僚らの「政治とカネ」や景気拡大の中での地域間格差などの対応が問われ、国会で与野党の攻防が展開された。

一方、長野県を6年近くにわたりけん引してきた田中康夫県政が昨年夏の知事選で村井仁知事にバトンタッチされ、懸案のダム建設、産業振興戦略などで新たな方向へ進み始めている。大都市圏の景気拡大が地方経済にいまひとつ派及されないという状況で、国政、県政の動向にはかつてなくきびしい視線が注がれている。

本調査は、対象を経済、各団体のトップに限定し、県下のオピニオン・リーダーとしての意識をさらに鮮明に得るねらいで、1997年1月に初めて実施し、これまでほぼ1年に1回実施を行っている。今回は、力量がますます問われる企業、地域のリーダーが政治、経済にどのような方向性を期待しているのかを軸に点検する。

◆ 調査の設計

▽調査対象	県内の各業界で中核的に活動している企業の社長、団体の長、市長
▽調査方法	郵送回収（一部ファクス・インターネット）
▽調査期間	2007年5月22日～6月25日

◆ 回収結果

▽回収結果	サンプル数	803人	有効回収数	447人（55.7%）
▽回収内訳	郵送	331人（74.0%）		
	ファクス	80人（17.9%）		
	ネット	36人（8.1%）		

<注>今回調査の報告書では、社長・トップ層と一般県民の意識の違いをみるため、長野県世論調査協会が別に実施した調査データを引用した。

▽ 県民の政治意識－第24回モニター調査（2007.2 登録500人・郵送＋電話その他）

▽ 村井県政半年（2007.2 県内在住20歳以上男女1000人・電話）

▽ 参院選連続調査－第1回（2007.6 登録モニター500人・郵送＋電話その他）

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
合計	447	1	5	44	179	167	49	2
	100.0%	0.2%	1.1%	9.8%	40.0%	37.4%	11.0%	0.4%
男性	435	1	5	43	173	167	46	-
	97.3%	0.2%	1.1%	9.6%	38.7%	37.4%	10.3%	-
女性	7	-	-	1	5	-	1	-
	1.6%	-	-	0.2%	1.1%	-	0.2%	-
不明	5	-	-	-	1	-	2	2
	1.1%	-	-	-	0.2%	-	0.4%	0.4%

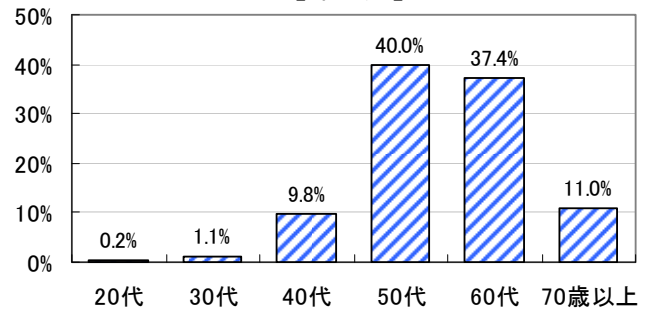
【出身地】

県内	381	85.2%
県外	62	13.9%
不明	4	0.9%

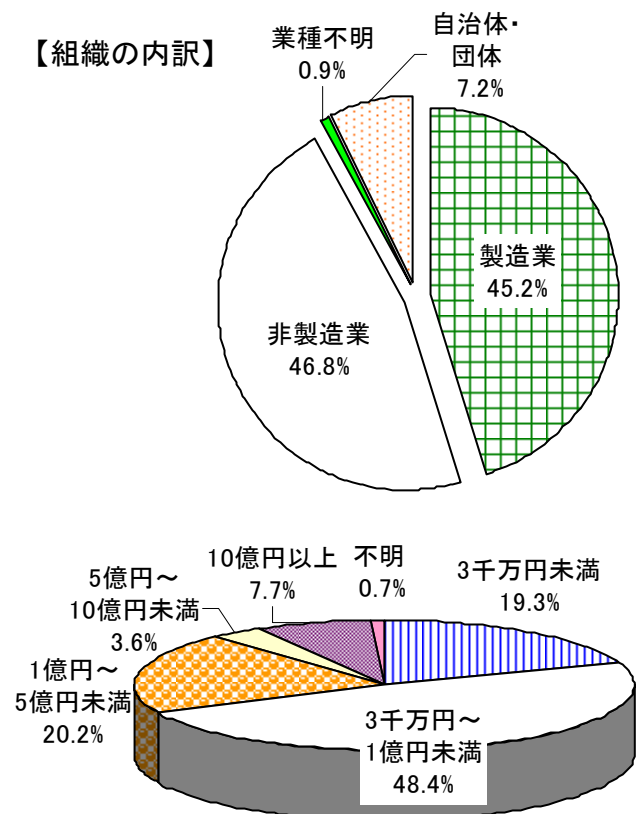
【組織の種別】

企業	415	92.8%
〔製造業全体〕	202	45.2%
食品・飲料・酒	45	10.1%
繊維・衣服	3	0.7%
木材・木製品・家具・紙・パルプ	3	0.7%
印刷・出版・製本	8	1.8%
化学・石油・プラスチック・ゴム	12	2.7%
鉄鋼・非鉄・金属	13	2.9%
一般機械・輸送機械	33	7.4%
電気・情報通信・精密機器・電子部品	76	17.0%
その他	9	2.0%
〔非製造業全体〕	209	46.8%
建設・設備・不動産業	39	8.7%
電気・ガス・水道	3	0.7%
運輸・情報通信	38	8.5%
卸・小売業	63	14.1%
金融・保険・証券	9	2.0%
サービス業	47	10.5%
医療・福祉・教育・学習支援	6	1.3%
その他	4	0.9%
自治体・団体	32	7.2%
業種不明	4	0.9%

【年代別】

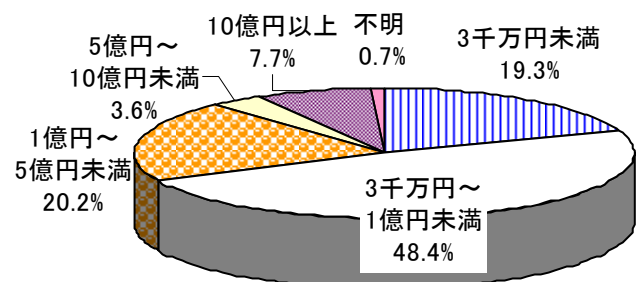


【組織の内訳】



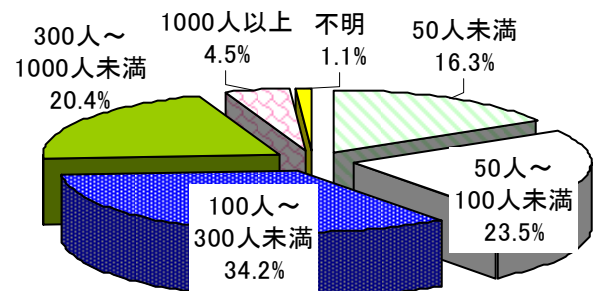
【資本金】

3千万円未満	80	19.3%
3千万円～1億円未満	201	48.4%
1億円～5億円未満	84	20.2%
5億円～10億円未満	15	3.6%
10億円以上	32	7.7%
不明	3	0.7%



【規模】

50人未満	73	16.3%
50人～100人未満	105	23.5%
100人～300人未満	153	34.2%
300人～1000人未満	91	20.4%
1000人以上	20	4.5%
不明	5	1.1%



II 結果の概要

A 経済・財政の現況

今の景況 県内「回復・拡大・好況」40%余 全国より24ポイント低

国内全体は「好況～回復の兆し」の全般的に上向きとする見方が65%を占めた。それと対照的に、県内については40%余にとどまり「不況の深刻化～足踏み」の低迷との見方が47%と上回る。

製造業の方で「好況の持続」が高めなのは国内、県内に共通する中で、県内の製造業の“上昇”全体が44%に対して、非製造業では10ポイント落ち込む。

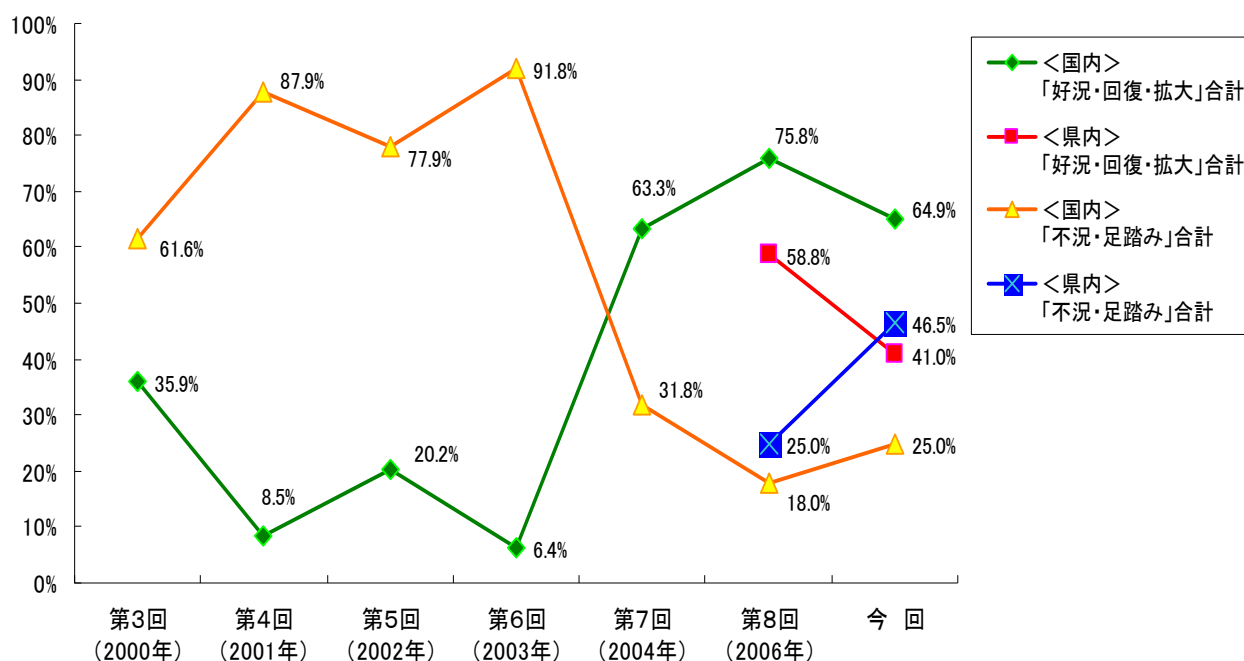
今後の見通しは「拡大・好況」が国内31%－県内15%と落差が大きく、県内の「下降・低迷」は34%に高まり、国内に比べて10ポイント近く上回る。

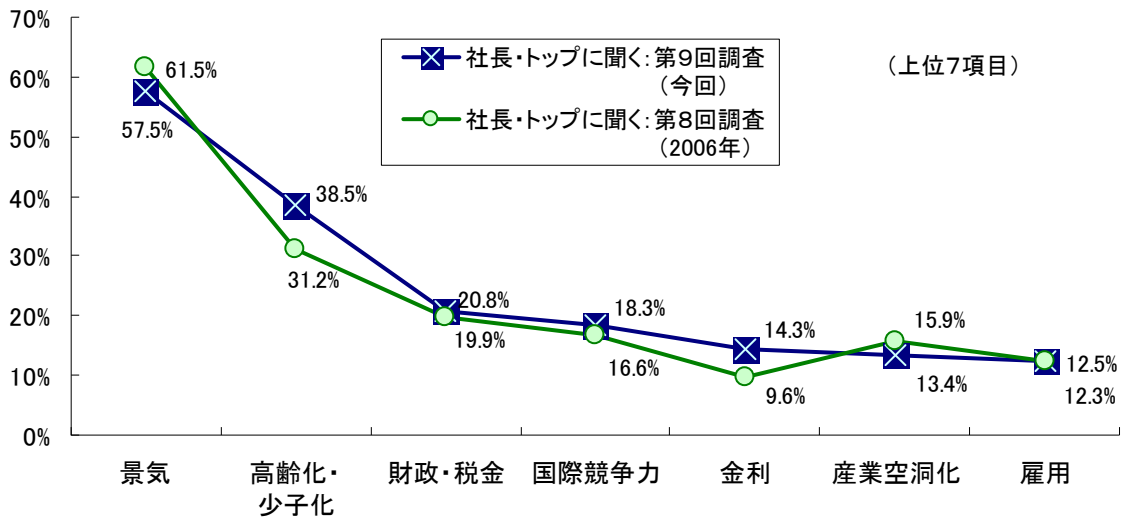
◆ 日銀6月短観

県内・全産業は改善して「ゼロ」 製造業上昇「プラス14」 非製造業悪化「マイナス17」

日銀がまとめた6月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の業況判断指数（D I）は大企業製造業でプラス23、同非製造業は同22で、ともに前回3月調査から横ばい。県内は全産業が前回よりも2ポイント改善しゼロとなり、2006年12月以来の上昇。その中で、製造業は5ポイント上昇のプラス14、非製造業は3ポイント悪化のマイナス17。次の9月予測は製造業でプラス17、非製造業はマイナス15と「着実で息の長い回復を続ける公算が大きい」（日銀松本支店）との見方だ。

◆ 国内と県内の比較



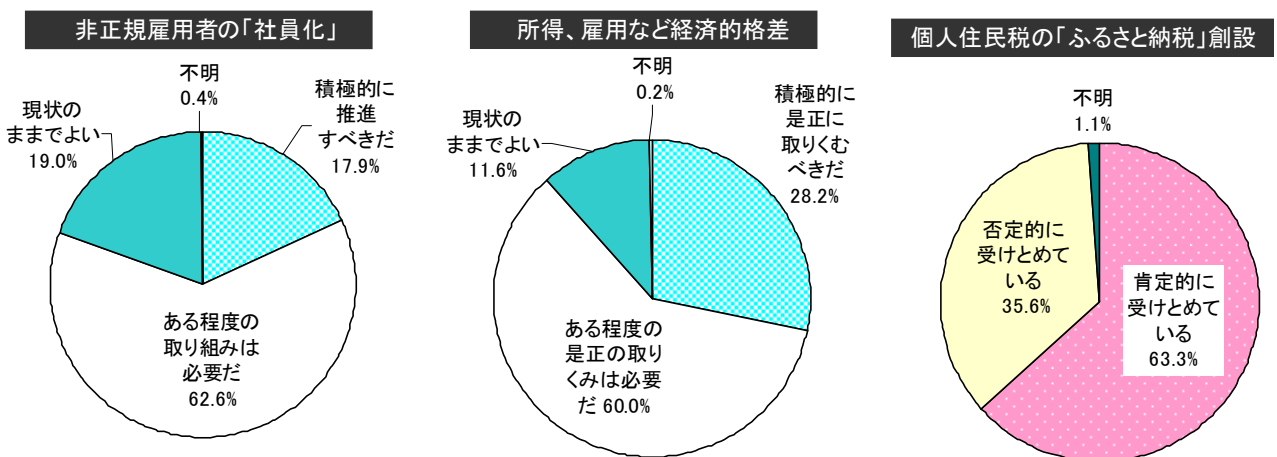


「景気」が飛び抜けて最も関心が高く「高齢化・少子化」「財政・税金」「国際競争力」と続く上位は前年と変わらない。5位に「金利」が挙げられたのが目を引く。

「景気」には60代と70歳以上（以下「70代」と略記）が高め。「高齢化・少子化」では50代以上で高めになっている。

非製造業の方が「景気」など上位3つで高めだが、製造業では「国際競争力」が2番目に跳ね上がり「産業空洞化」にも敏感になっている。

◆所得などの格差「積極的是正を」28%



＜非正規雇用者の「社員化」＞ 「積極的に推進すべきだ」と「現状のままでよい」が20%弱で並び「ある程度の取りくみが必要だ」が60%を超える。積極推進が自治体・団体に34%にのぼり、企業の倍以上の高さを示す。

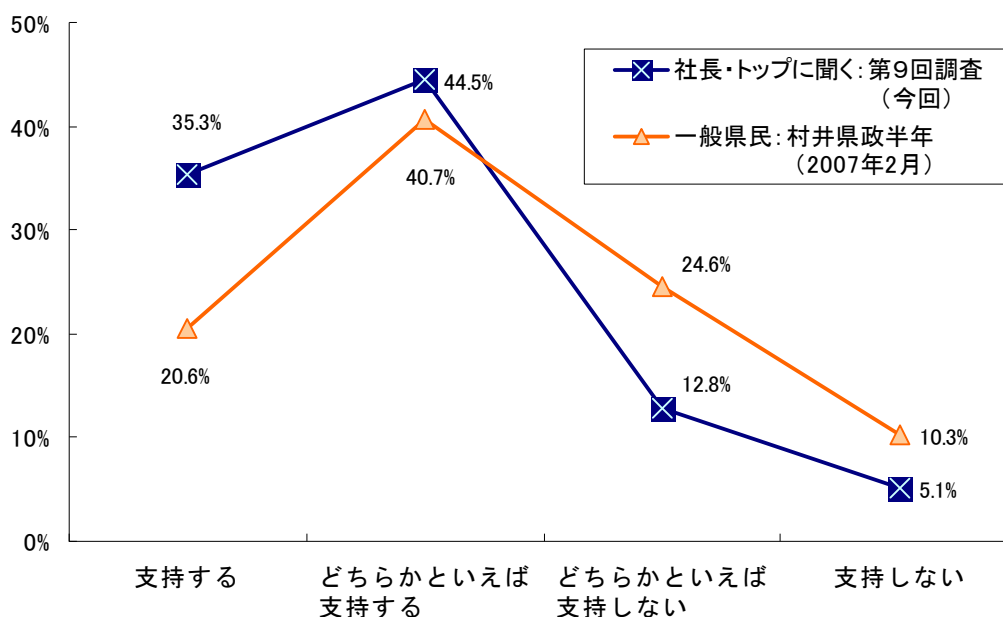
＜所得、雇用など経済的格差＞ 「ある程度の是正の取り組みは必要だ」が60%の大勢を占める中で「積極的に是正に取りくむべきだ」が28%で、自治体・団体の方が高く、製

造業の24%に対して、非製造業が29%とやや高めになっている。

＜個人住民税の「ふるさと納税」創設＞ 受けとめの「肯定的」が63%と優勢で「否定的」は36%と大差が出た。企業、自治体・団体の足並みがほぼそろっている。

B 県政の受けとめ

村井県政の評価 「支持」80%に迫る 一般県民より約20ポイント高く



田中県政から引き継いで10カ月を迎える村井県政に対して、支持の総体で約80%の高率。積極的支持だけで3人に1人にのぼり、自治体・団体では80%に突出する。製造業27%－非製造業36%といった濃淡もみられる。

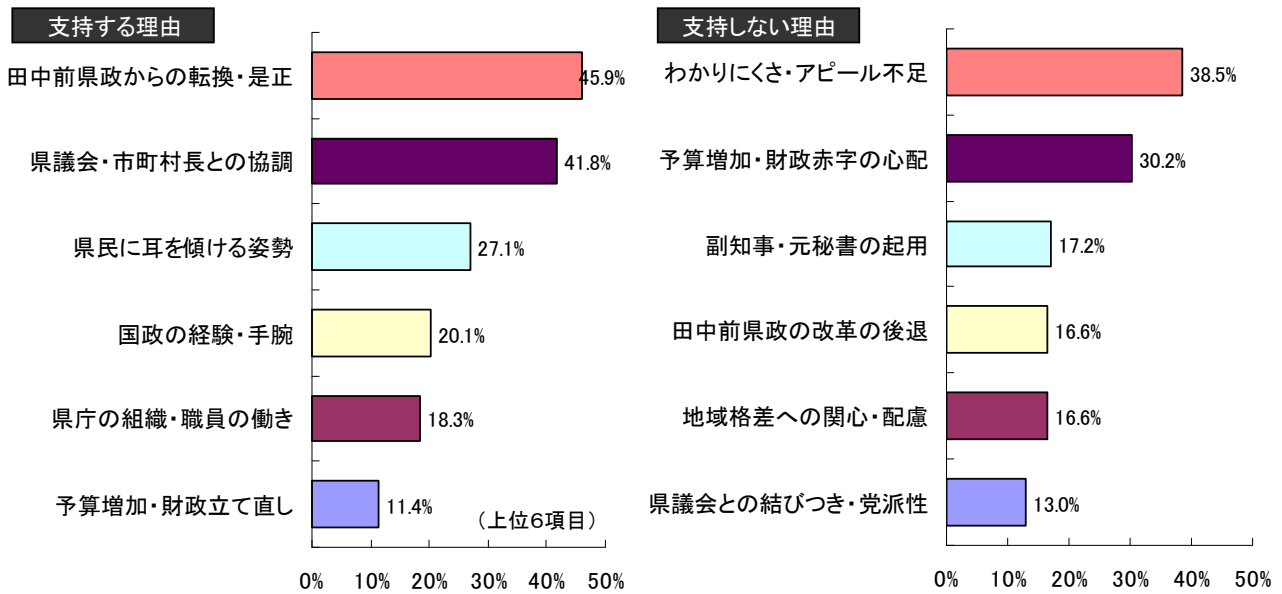
個別の課題のうち、浅川の治水事業「穴あきダム」建設の提案に「賛成」が48%で、高い年代層や自治体・団体で高め。「反対」は16%の一方で「なんともいえない」が35%にのぼる。元秘書の起用には「問題がある」が40%、「問題はない」が57%の濃淡が現われた。

◆ 支持理由「前県政の転換」トップ 不支持の筆頭「分かりにくさ」

村井県政を評価する点は「田中前県政からの転換・是正」がトップで「県議会・市町村長との協調」が僅差で続き、一般県民の受けとめ（2007年2月の「村井県政半年」調査）に比べてかなり高くなっている。県民調査ではトップの「県民に耳を傾ける姿勢」は3位。浅川の穴あきダムに象徴される「ダム問題打開の取りくみ」や「政策面に満足」は低位に置かれる。

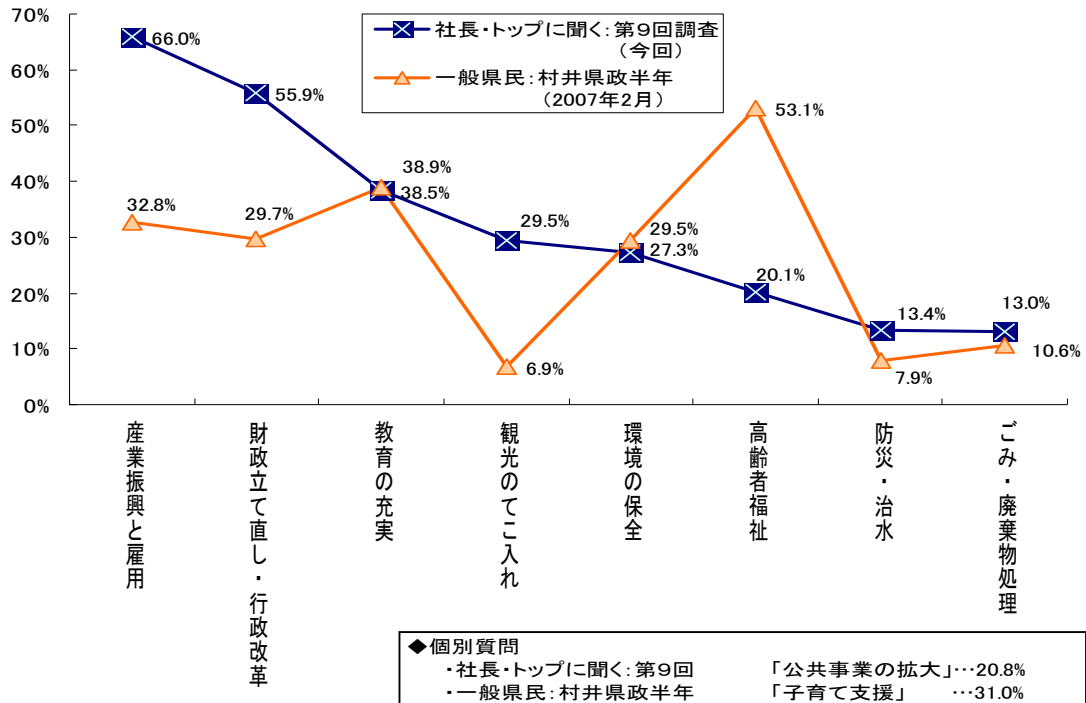
評価しない点では、県民調査と同様「分かりにくさ・アピール不足」がトップ。「予算増

加・財政赤字の心配」が続き「副知事・元秘書の起用」が3位に挙げられた。上位の項目で企業の受けとめが厳しく出ている。



県政の優先課題

◆ トップ「産業振興・雇用」 続く「財政立て直し」「教育」



「産業振興と雇用」が他を引き離してトップに挙げられ「財政立て直し・行政改革」が続く。上位には「教育の充実」「観光のてこ入れ」が並び「環境の保全」が5位に食い込んだ。企業で「財政・行革」の度合いが高い半面で、自治体・団体では「産業・雇用」がぐ

んと高まる。「観光」が二番手で、県民調査で高率を示した「高齢者福祉」が3位に上がり、企業とは感度の違いが鮮明だ。

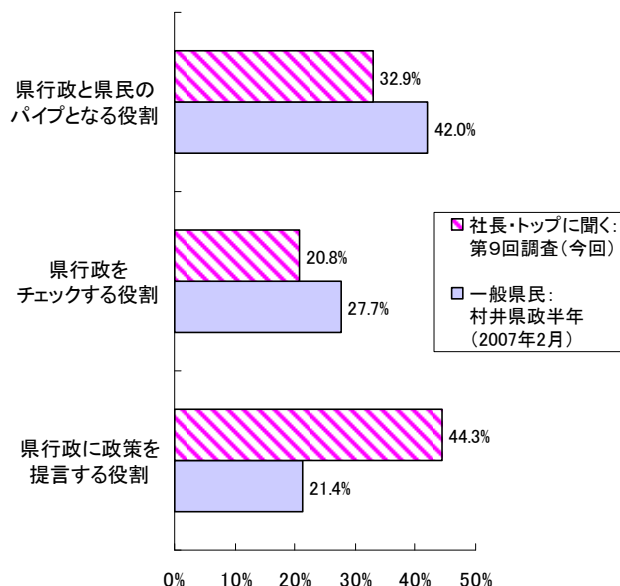
県議会の役割

◆ 「政策提言」最多44% 「チェック役」一般県民より低め

統一地方選で新たな構成になった県議会の村井県政に対する役割は「政策への提言」が44%で最も高く、一般県民の期待感とはかなりの開きが生じた。

県民調査で最も高い「県民とのパイプ役」が33%。「チェック役」も21%と県民を下回る。

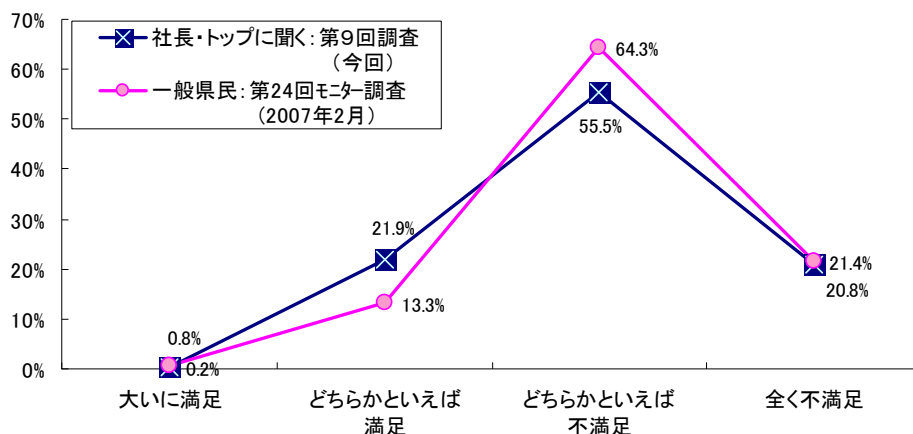
年代層で見ると、50～60代で「政策の提言役」が平均値を上回り、70代で「パイプ役」が伸びている。



Ⅲ 今回のポイント

信州トップ層の政治意識

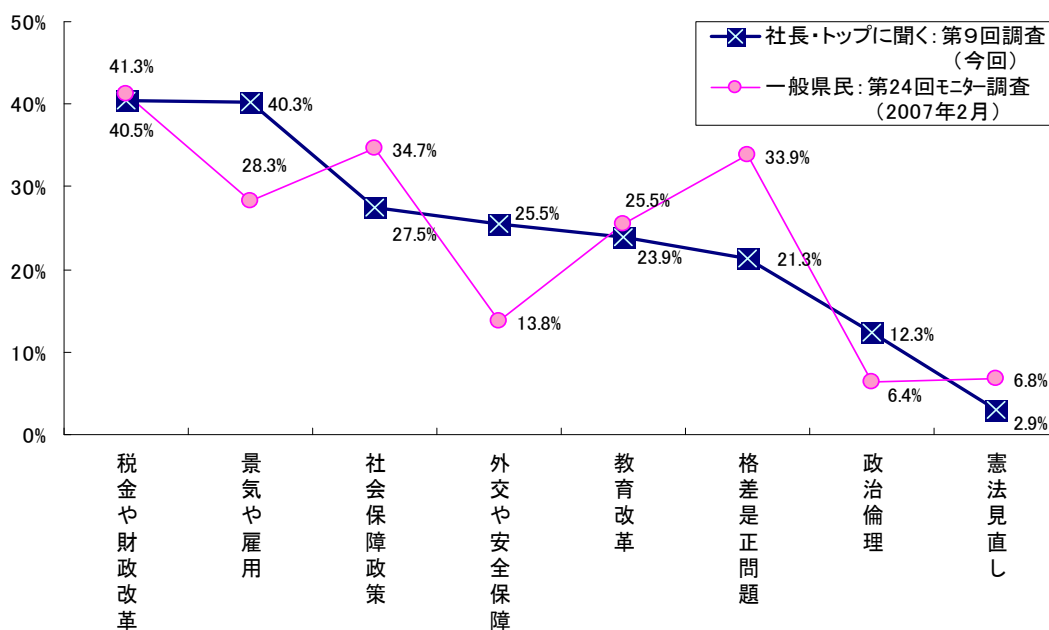
今の政治の満足度 「不満足」4人に3人 一般県民よりは低め



「満足」の総体で20%余にとどまるが、高い年代層で高まり、70代では3人に1人のぼる。その一方で「不満足」が総体で4人に3人は占め、一般県民よりは下回るものの、かなりの高率になる。

国政の優先課題

◆ 「税・財政」と「景気」上位に 「格差」で県民と温度差



「税金や財政改革」と「景気や雇用」が同率でトップに並び「社会保障政策」「外交や安全保障」「教育改革」「格差是正問題」が僅差で続く。自治体・団体では「社会保障」が飛

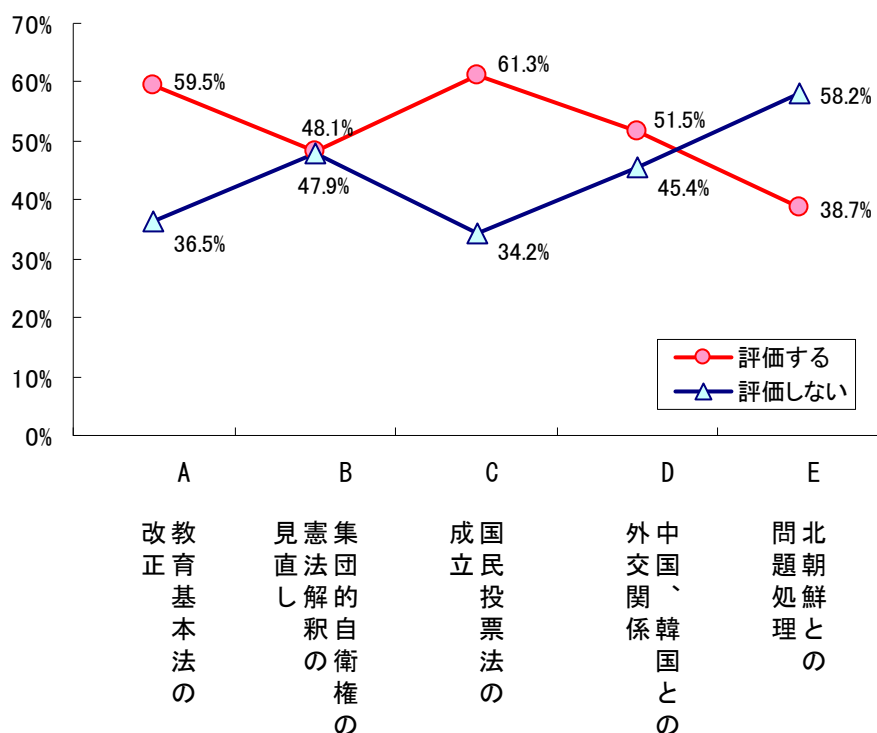
び抜けて高く「格差是正」が2番目に浮上して県民調査に連動するかたちになっており、企業との違いがめだつ。

「税金・財政」は業種による開きはみられないが「景気・雇用」では非製造業でトップに挙げられ、製造業よりも10ポイント程度上回る。逆に「教育改革」では製造業が引き離す。

消費税のあり方には「引き上げる必要はあるが当面は控えるべきだ」が57%と最も多く「引き上げずに、他の方策を進めるべきだ」が27%、「できるかぎり早く引き上げに踏み切るべきだ」は15%という順になっている。

安倍内閣の取りくみ

◆ 教育基本法「評価する」60% 「集団的自衛権」には“賛否” 伯仲



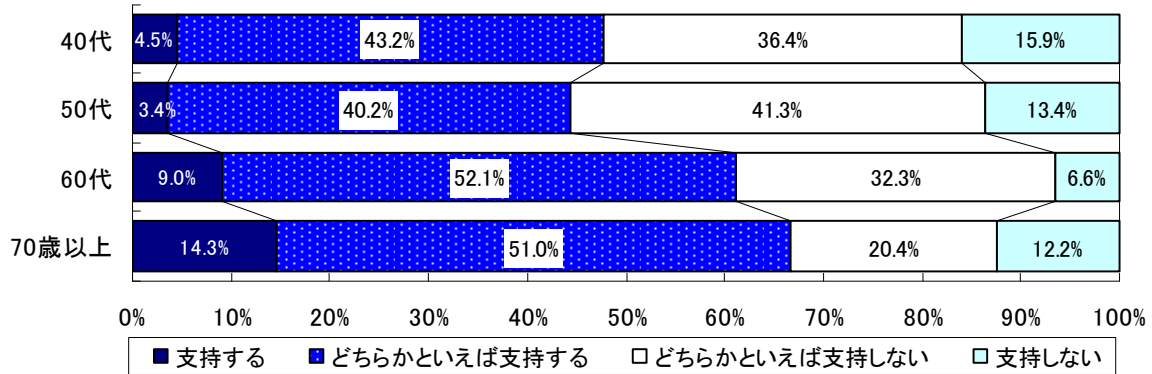
5つ挙げた内政・外交の課題で、国民投票法の成立は「評価する」が60%を超えて最も高く、教育基本法の改正、中国・韓国との外交関係でも「評価しない」を上回った。集団的自衛権の憲法解釈の見直しでは肯定・否定の受けとめが拮抗し、北朝鮮との問題処理は「評価しない」が上回り60%に迫る。

国民投票法の成立を「評価する」が企業で60%を超えたのに対して、自治体・団体では10ポイント余下回る。また、50代59%—60代66%の温度差もみられる。集団的自衛権の見直しも企業の肯定が50%近い半面、自治体・団体では38%にとどまり、年代層が高まるほどに「評価する」が高まる。

安倍内閣の評価

「支持する」ギリギリ過半数 40～50代は届かず

「支持する」の総体が53.1%、「支持しない」が45.9%。60代以上で支持が60%台にのったのに対して、40～50代では不支持が半数を超えた。



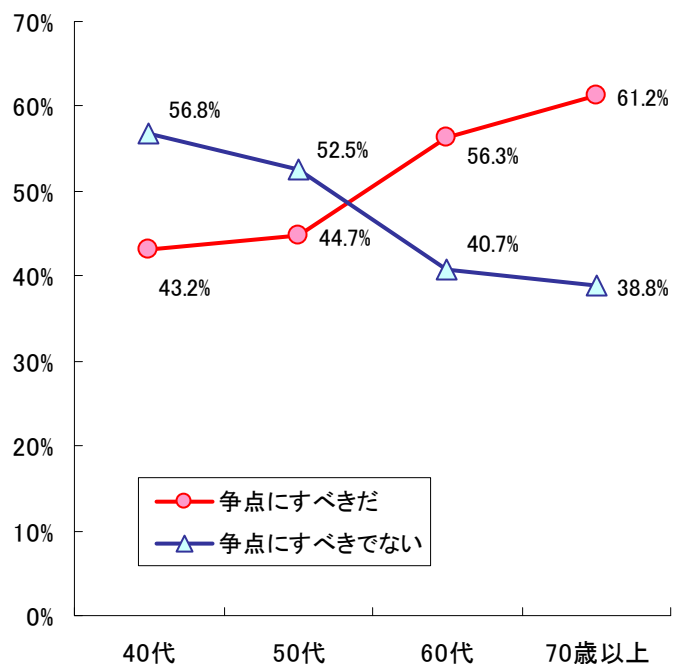
安倍首相が掲げる「美しい国づくり」には「評価する」は40%弱にとどまり、60%近くが否定的な受けとめになっている。閣僚などの一連の「政治とカネ」の問題をめぐる安倍首相の指導力には「評価しない」が90%近くに跳ね上がった。

また、日本の首相に必要なと思う能力・資質は「リーダーシップ」が飛び抜けて高く「政策立案能力」が2番目。

参院選の取りくみ

◆ 憲法見直しを争点に「肯定的」51% 「否定的」47%の拮抗

安倍首相がこんどの参院選の争点として、積極的に憲法見直しの是非を掲げたことについて「争点にすべきだ」が51%、「争点にすべきでない」は47%と伯仲。肯定的な受けとめが企業で51%、団体では47%と接近したが、年代層では60代以上の肯定が半数を超えたのに対して、逆に50代以下では否定が半数を超え、世代間格差がはっきり。業種間では製造業54%—非製造業48%と微妙な違いがみえる。



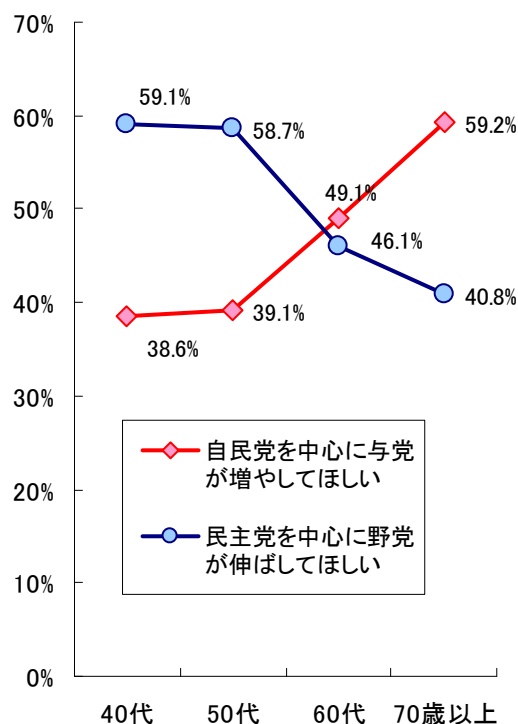
◆ 議席増を期待「民主党中心の野党」優位の52%

「民主党を中心に野党が増えてほしい」が52%と優勢だが「自民党を中心に与党が増えてほしい」が45%と接近。

40～50代で「野党」が60%近くの優勢の一方で「与党」は60代でやや上回り、70代では約60%に増えて逆転する。一般県民の「野党」の66%とはやや感度が違う。

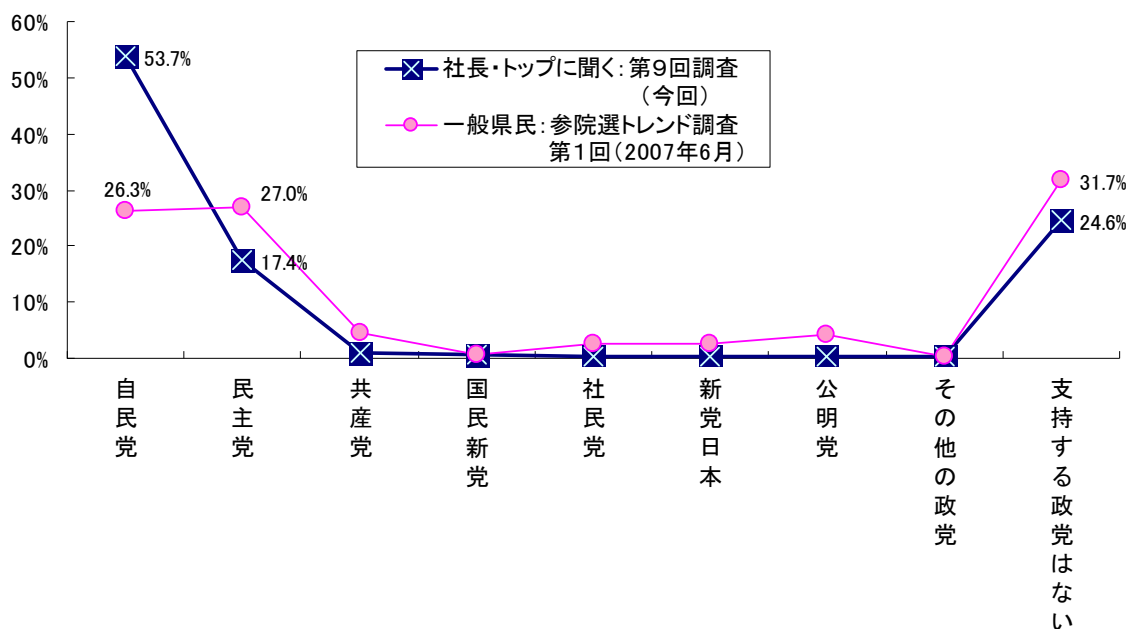
小沢一郎代表の今の民主党の政権担当能力については「持っていると思う」が30%にとどまり、否定的感度が2倍以上になる。

しかし、今後の政治・政党の再編成には「期待する」が60%を超え、一般県民よりも高くなっている。



政党支持

自民 53.7% 民主 17.4% 支持なし 24.6



「自民党」が53.7%に突出し、大きく落ち込んで「民主党」が17.4%。「支持なし」が24.6%で両党の間に挟まる。

年代層で見ると「自民党」は60代以上で60%前後と高いのに対して、50代では46%にとどまり「民主党」が19.6%と最も高く「支持なし」が30%台に達する。

IV 単純集計

問 1 あなたは、現在景気はどんな段階だと思いますか

A 現在の景気・国内全体

	全体	製造業	非製造業
好況が続いている	8.5%	11.9%	5.7%
不況から回復し 拡大している	25.1%	23.8%	24.9%
不況の底から回復の 兆しがある	31.3%	24.8%	35.4%
不況のまま足踏み している	22.1%	22.8%	23.0%
不況がさらに深刻化 している	2.9%	4.0%	2.4%
なんともいえない	10.1%	12.9%	8.6%

B 現在の景気・長野県内

	全体	製造業	非製造業
好況が続いている	3.4%	5.4%	1.9%
不況から回復し拡大 している	8.5%	11.9%	3.8%
不況の底から回復の 兆しがある	29.1%	26.7%	28.2%
不況のまま足踏み している	38.7%	27.2%	51.2%
不況がさらに深刻化 している	7.8%	11.9%	5.3%
なんともいえない	12.5%	16.8%	9.6%

問 2 あなたは、今後景気はどういう方向に向かうと思いますか

A 今後の景気・国内全体

	全体	製造業	非製造業
拡大ないしは好況の 持続	30.6%	30.7%	33.0%
下降ないしは低迷の 持続	24.6%	29.2%	23.0%
なんともいえない	44.5%	40.1%	44.0%
不明	0.2%	-	-

B 今後の景気・長野県内

	全体	製造業	非製造業
拡大ないしは好況の 持続	15.2%	20.3%	10.5%
下降ないしは低迷の 持続	33.8%	34.2%	36.8%
なんともいえない	50.8%	45.5%	52.6%
不明	0.2%	-	-

問 3 あなたが現在、経済・財政の動向や課題などで、最も関心を持っているのはどんなことですか(2つ以内)

	全体	製造業	非製造業
景気	57.5%	56.9%	60.3%
高齢化・少子化	38.5%	30.2%	43.5%
財政・税金	20.8%	17.3%	21.1%
国際競争力	18.3%	31.2%	7.7%
金利	14.3%	15.3%	12.4%
産業空洞化	13.4%	19.3%	8.6%
雇用	12.5%	10.9%	14.4%
物価	6.3%	8.4%	4.3%
株価	5.4%	3.5%	8.1%
情報技術	4.3%	2.0%	6.7%
地価	2.9%	1.0%	5.3%
その他	3.4%	1.5%	4.8%
特にない	-	-	-
不明	0.2%	0.5%	-

問 4 あなたは、企業経営や国の経済・財政の課題について、どのように考えていますか

A 非正規雇用者の「社員化」

	全体	製造業	非製造業
積極的に推進 すべきだ	17.9%	16.3%	16.7%
ある程度の取り組みは 必要だ	62.6%	64.9%	63.2%
現状のままでよい	19.0%	18.8%	19.1%
不明	0.4%	-	1.0%

B 所得、雇用など経済的格差

	全体	製造業	非製造業
積極的に是正に 取り組むべきだ	28.2%	24.3%	29.2%
ある程度の是正の 取り組みは必要だ	60.0%	60.4%	61.2%
現状のままでよい	11.6%	15.3%	9.1%
不明	0.2%	-	0.5%

C 個人住民税の「ふるさと納税」創設

	全体	製造業	非製造業
肯定的に受けとめて いる	63.3%	62.9%	64.6%
否定的に受けとめて いる	35.6%	36.6%	33.5%
不明	1.1%	0.5%	1.9%

問 5 村井知事は浅川の治水事業で「穴あきダム」を建設する方針を明らかにしました。あなたはどのように思いますか

	全体	製造業	非製造業
賛成	48.3%	38.6%	55.5%
反対	16.1%	24.3%	10.0%
なんともいえない・ わからない	34.9%	36.6%	33.5%
不明	0.7%	0.5%	1.0%

問 6 村井知事は国会議員時代の元秘書 3 人を特別秘書や任期つき職員として採用しました。あなたはどのように受けとめましたか

	全体	製造業	非製造業
問題がある	40.0%	44.1%	36.8%
問題はない	56.6%	54.5%	57.9%
不明	3.4%	1.5%	5.3%

問 7 あなたは、村井知事・県政にはどのような政策に力を入れてほしいですか(3つ以内)

	全体	製造業	非製造業
産業振興と雇用	66.0%	66.3%	63.6%
財政立て直し・ 行政改革	55.9%	64.9%	50.7%
教育の充実	38.5%	49.0%	29.7%
観光のてこ入れ	29.5%	19.3%	36.8%
環境の保全	27.3%	31.2%	25.4%
公共事業の拡大	20.8%	12.4%	29.2%
高齢者福祉	20.1%	15.8%	22.0%
防災・治水	13.4%	7.9%	17.7%
ごみ・廃棄物処理	13.0%	16.8%	11.0%
その他	2.0%	1.5%	0.5%
特にない	0.9%	1.0%	1.0%
不明	1.3%	1.5%	1.4%

問 8 あなたは、村井県政に対して県議会にはどのような役割を期待しますか

	全体	製造業	非製造業
県行政と県民のパイプとなる役割	32.9%	32.2%	33.0%
県行政をチェックする役割	20.8%	24.8%	17.7%
県行政に政策を提言する役割	44.3%	41.1%	46.9%
不明	2.0%	2.0%	2.4%

問 9 あなたは、村井知事をどう評価していますか

	全体	製造業	非製造業
支持する	35.3%	27.2%	36.4%
どちらかといえば支持する	44.5%	45.5%	47.8%
どちらかといえば支持しない	12.8%	18.3%	8.6%
支持しない	5.1%	6.9%	4.3%
不明	2.2%	2.0%	2.9%

問 10 村井知事を支持する・支持しないにかかわらず、評価する点があるとすれば、それはどんなことですか(2つ以内)

	全体	製造業	非製造業
田中前県政からの転換・是正	45.9%	39.6%	54.1%
県議会・市町村長との協調	41.8%	40.1%	39.7%
県民に耳を傾ける姿勢	27.1%	28.2%	23.4%
国政の経験・手腕	20.1%	19.8%	23.4%
県庁の組織・職員の働き	18.3%	17.8%	18.2%
予算増加・財政立て直し	11.4%	11.4%	12.4%
政策面に満足	3.8%	2.5%	3.3%
ダム問題打開の取り組み	2.9%	3.5%	2.4%
その他	0.9%	1.0%	0.5%
特にない	7.8%	11.9%	4.3%
不明	2.7%	3.0%	2.9%

問 11 村井知事を支持する・支持しないにかかわらず、評価しない点があるとすれば、それはどんなことですか(2つ以内)

	全体	製造業	非製造業
わかりにくさ・アピール不足	38.5%	37.6%	42.1%
予算増加・財政赤字の心配	30.2%	34.7%	26.8%
副知事・元秘書の起用	17.2%	15.8%	18.7%
田中前県政の改革の後退	16.6%	20.3%	14.4%
地域格差への関心・配慮	16.6%	17.8%	14.8%
県議会との結びつき・党派性	13.0%	9.9%	17.2%
「脱ダム」修正の取り組み	8.1%	10.4%	6.2%
政策面に不満	7.6%	9.4%	6.2%
その他	1.8%	0.5%	3.3%
特にない	14.3%	14.4%	11.5%
不明	3.6%	2.5%	4.3%

問 12 あなたは、村井知事の前に 6 年間続いた田中県政について、現在はどのように評価していますか

	全体	製造業	非製造業
かなり評価している	6.5%	9.4%	3.3%
まあ評価している	33.8%	37.6%	31.6%
あまり評価していない	36.0%	35.1%	35.9%
まったく評価していない	21.7%	15.8%	26.8%
不明	2.0%	2.0%	2.4%

問 13 あなたは、今の政治に満足していますか

	全体	製造業	非製造業
大いに満足	0.2%	0.5%	-
どちらかといえば満足	21.9%	24.8%	19.1%
どちらかといえば不満足	55.5%	51.0%	59.3%
全く不満足	20.8%	21.8%	20.1%
不明	1.6%	2.0%	1.4%

問 14 あなたは、安倍首相が掲げる「美しい国」づくりについて、どう受けとめますか

	全体	製造業	非製造業
高く評価する	4.3%	5.0%	3.3%
まあ評価する	35.1%	35.6%	34.9%
あまり評価しない	44.3%	42.1%	45.9%
まったく評価しない	14.5%	15.3%	13.9%
不明	1.8%	2.0%	1.9%

問 15 あなたは、閣僚などの「政治とカネ」の問題をめぐる安倍首相の指導力について、どう受けとめますか

	全体	製造業	非製造業
高く評価する	-	-	-
まあ評価する	9.8%	11.4%	9.1%
あまり評価しない	51.0%	48.0%	50.7%
まったく評価しない	37.8%	39.1%	38.8%
不明	1.3%	1.5%	1.4%

問 16 あなたは、安倍内閣が進めてきた内政・外交の課題について、どう受けとめていますか

A 教育基本法の改正

	全体	製造業	非製造業
評価する	59.5%	61.9%	57.9%
評価しない	36.5%	34.2%	37.3%
不明	4.0%	4.0%	4.8%

B 集団的自衛権の憲法解釈の見直し

	全体	製造業	非製造業
評価する	48.1%	48.5%	49.3%
評価しない	47.9%	47.5%	45.9%
不明	4.0%	4.0%	4.8%

C 国民投票法の成立

	全体	製造業	非製造業
評価する	61.3%	60.9%	63.6%
評価しない	34.2%	34.7%	31.1%
不明	4.5%	4.5%	5.3%

D 中国、韓国との外交関係

	全体	製造業	非製造業
評価する	51.5%	55.9%	47.4%
評価しない	45.4%	41.6%	48.3%
不明	3.1%	2.5%	4.3%

E 北朝鮮との問題処理

	全体	製造業	非製造業
評価する	38.7%	37.1%	38.8%
評価しない	58.2%	59.9%	57.4%
不明	3.1%	3.0%	3.8%

問 17 これからの政治に力を入れてほしい重要な課題は何ですか(2つ以内)

	全体	製造業	非製造業
税金や財政改革	40.5%	42.6%	40.2%
景気や雇用	40.3%	36.6%	45.0%
社会保障政策	27.5%	25.2%	26.3%
外交や安全保障	25.5%	27.7%	25.4%
教育改革	23.9%	30.2%	19.1%
格差是正問題	21.3%	16.3%	23.4%
政治倫理	12.3%	10.4%	14.4%
憲法見直し	2.9%	4.0%	2.4%
その他	2.7%	2.0%	1.9%
特にない	-	-	-
不明	1.1%	1.5%	1.0%

問 18 あなたは、今後の消費税の取り扱いについて、どのように受けとめていますか

	全体	製造業	非製造業
できるかぎり早く引き上げに踏み切るべきだ	14.8%	13.9%	15.8%
引き上げる必要はあるが、当面は控えるべきだ	56.8%	54.0%	57.9%
引き上げせずに、他の方策を進めるべきだ	27.1%	30.7%	24.9%
不明	1.3%	1.5%	1.4%

問 19 安倍首相が憲法見直しの是非を参院選の争点にする考えを表明しましたが、あなたはどのように受けとめていますか

	全体	製造業	非製造業
争点にすべきだ	50.6%	54.0%	48.3%
争点にすべきでない	47.0%	44.6%	48.8%
不明	2.5%	1.5%	2.9%

問 20 今年夏の参院選で議席を伸ばしてほしいのは、自民党などの与党と民主党などの野党のどちらですか

	全体	製造業	非製造業
自民党を中心に与党が増やしてほしい	45.0%	43.6%	45.0%
民主党を中心に野党が伸ばしてほしい	51.9%	53.0%	52.2%
不明	3.1%	3.5%	2.9%

問 21 あなたは、小沢一郎代表が率いる今の民主党が政権を担当する能力を持っていると思いますか

	全体	製造業	非製造業
持っていると思う	30.0%	34.2%	27.8%
持っていないと思う	67.3%	63.9%	69.4%
不明	2.7%	2.0%	2.9%

問 22 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか

	全体	製造業	非製造業
期待する	61.3%	62.4%	61.2%
期待しない	36.0%	35.1%	36.8%
不明	2.7%	2.5%	1.9%

問 23 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか

	全体	製造業	非製造業
リーダーシップ	53.2%	54.0%	55.5%
政策立案能力	15.9%	15.3%	16.7%
バランス感覚	12.1%	11.4%	10.5%
国民への説明能力	11.4%	11.4%	11.0%
庶民感覚	3.1%	3.5%	2.4%
清潔さ	1.8%	2.5%	1.0%
人柄	0.9%	0.5%	1.4%
その他	0.7%	0.5%	0.5%
特になし	0.4%	-	1.0%
不明	0.4%	1.0%	-

問 24 あなたは、安倍晋三内閣をどう評価しますか

	全体	製造業	非製造業
支持する	7.2%	8.4%	6.2%
どちらかといえば支持する	45.9%	50.5%	39.2%
どちらかといえば支持しない	34.9%	26.7%	43.5%
支持しない	11.0%	12.9%	10.0%
不明	1.1%	1.5%	1.0%

問 25 あなたは、どの政党を支持していますか

	全体	製造業	非製造業
自民党	53.7%	53.0%	55.5%
民主党	17.4%	20.8%	14.8%
共産党	0.9%	1.0%	1.0%
国民新党	0.7%	1.0%	0.5%
社民党	0.4%	-	1.0%
新党日本	0.4%	0.5%	-
公明党	0.2%	0.5%	-
その他の政党	0.2%	-	0.5%
支持する政党はない	24.6%	21.8%	25.4%
不明	1.3%	1.5%	1.4%

V 調査票

第9回「信州の社長・トップに聞く」調査票

I 現在の経済状況、課題について

問1 あなたは、現在景気はどんな段階だと思いますか。

A 国内全体

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 好況が続いている | ④ 不況のまま足踏みしている |
| ② 不況から回復し拡大している | ⑤ 不況がさらに深刻化している |
| ③ 不況の底から回復の兆しがある | ⑥ なんともいえない |

B 長野県内

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 好況が続いている | ④ 不況のまま足踏みしている |
| ② 不況から回復し拡大している | ⑤ 不況がさらに深刻化している |
| ③ 不況の底から回復の兆しがある | ⑥ なんともいえない |

問2 あなたは、今後景気はどのような方向に向かうと思いますか。

A 国内全体

- | | |
|---------------|------------|
| ① 拡大ないしは好況の持続 | ③ なんともいえない |
| ② 下降ないしは低迷の持続 | |

B 長野県内

- | | |
|---------------|------------|
| ① 拡大ないしは好況の持続 | ③ なんともいえない |
| ② 下降ないしは低迷の持続 | |

問3 あなたが現在、経済・財政の動向や課題などで、最も関心を持っているのはどんなことですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- | | | | |
|------|-----------|-----------|--------|
| ① 景気 | ⑤ 株価 | ⑨ 産業空洞化 | ⑬ 特にない |
| ② 雇用 | ⑥ 金利 | ⑩ 国際競争力 | |
| ③ 物価 | ⑦ 財政・税金 | ⑪ 情報技術 | |
| ④ 地価 | ⑧ 高齢化・少子化 | ⑫ その他 () | |

問4 あなたは、企業経営や国の経済・財政の課題について、どのように考えていますか。

A 非正規雇用者の「社員化」

- | | |
|-----------------|------------|
| ① 積極的に推進すべきだ | ③ 現状のままでよい |
| ② ある程度の取り組みは必要だ | |

B 所得、雇用など経済的格差

- | | |
|--------------------|------------|
| ① 積極的に是正に取りくむべきだ | ③ 現状のままでよい |
| ② ある程度の是正の取りくみは必要だ | |

C 個人住民税の「ふるさと納税」創設

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 肯定的に受けとめている | ② 否定的に受けとめている |
|---------------|---------------|

II 県政について

問5 村井知事は浅川の治水事業で「穴あきダム」を建設する方針を明らかにしました。あなたはどのように思いますか。

- | | | |
|------|------|------------------|
| ① 賛成 | ② 反対 | ③ なんともいえない・わからない |
|------|------|------------------|

問6 村井知事は国会議員時代の元秘書3人を特別秘書や任期つき職員として採用しました。あなたはどのように受けとめましたか。

- ① 問題がある ② 問題はない

問7 あなたは、村井知事・県政にはどのような政策に力を入れてほしいですか。3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 教育の充実 ⑤ 公共事業の拡大 ⑨ 観光のてこ入れ
② 環境の保全 ⑥ 防災・治水 ⑩ その他
③ 産業振興と雇用 ⑦ 財政立て直し・行政改革 ()
④ 高齢者福祉 ⑧ ごみ・廃棄物処理 ⑪ 特にない

問8 あなたは、村井県政に対して県議会にはどのような役割を期待しますか。

- ① 県行政と県民のパイプとなる役割 ③ 県行政に政策を提言する役割
② 県行政をチェックする役割

問9 あなたは、村井知事をどう評価していますか。

- ① 支持する ③ どちらかといえば支持しない
② どちらかといえば支持する ④ 支持しない

問10 村井知事を支持する・支持しないにかかわらず、評価する点があるとするれば、それはどんなことですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 県民に耳を傾ける姿勢 ⑥ 国政の経験・手腕
② 政策面に満足 ⑦ 予算増加・財政立て直し
③ 田中前県政からの転換・是正 ⑧ 県庁の組織・職員の働き
④ ダム問題打開の取りくみ ⑨ その他 ()
⑤ 県議会・市町村長との協調 ⑩ 特にない

問11 村井知事を支持する・支持しないにかかわらず、評価しない点があるとするれば、それはどんなことですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① わかりにくさ・アピール不足 ⑥ 予算増加・財政赤字の心配
② 田中前県政の改革の後退 ⑦ 県議会との結びつき・党派性
③ 「脱ダム」修正の取りくみ ⑧ 地域格差への関心・配慮
④ 政策面に不満 ⑨ その他 ()
⑤ 副知事・元秘書の起用 ⑩ 特にない

問12 あなたは、村井知事の前に6年間続いた田中県政について、現在はどのように評価していますか。

- ① かなり評価している ③ あまり評価していない
② まあ評価している ④ まったく評価していない

Ⅲ 国政について

問13 あなたは、今の政治に満足していますか。

- ① 大いに満足 ③ どちらかといえば不満足
② どちらかといえば満足 ④ 全く不満足

問14 あなたは、安倍首相が掲げる「美しい国」づくりについて、どう受けとめますか。

- ① 高く評価する
- ② まあ評価する
- ③ あまり評価しない
- ④ まったく評価しない

問15 あなたは、閣僚などの「政治とカネ」の問題をめぐる安倍首相の指導力について、どう受けとめますか。

- ① 高く評価する
- ② まあ評価する
- ③ あまり評価しない
- ④ まったく評価しない

問16 あなたは、安倍内閣が進めてきた内政・外交の課題について、どう受けとめていますか。該当する番号に○をお付けください。

		評価する	評価しない
A	教育基本法の改正	①	②
B	集団的自衛権の憲法解釈の見直し	①	②
C	国民投票法の成立	①	②
D	中国、韓国との外交関係	①	②
E	北朝鮮との問題処理	①	②

問17 これからの政治に力を入れてほしい重要な課題は何ですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 外交や安全保障
- ② 教育改革
- ③ 税金や財政改革
- ④ 格差是正問題
- ⑤ 憲法見直し
- ⑥ 政治倫理
- ⑦ 景気や雇用
- ⑧ 社会保障政策
- ⑨ その他 ()
- ⑩ 特にない

問18 あなたは、今後の消費税の取り扱いについて、どのように受けとめていますか。

- ① できるかぎり早く引き上げに踏み切るべきだ
- ② 引き上げる必要はあるが、当面は控えるべきだ
- ③ 引き上げせずに、他の方策を進めるべきだ

問19 安倍首相が憲法見直しの是非を参院選の争点にする考えを表明しましたが、あなたはどうか受けとめていますか。

- ① 争点にすべきだ
- ② 争点にすべきでない

問20 今年夏の参院選で議席を伸ばしてほしいのは、自民党などの与党と民主党などの野党のどちらですか。

- ① 自民党を中心に与党が増やしてほしい
- ② 民主党を中心に野党が伸ばしてほしい

問21 あなたは、小沢一郎代表が率いる今の民主党が政権を担当する能力を持っていると思いますか。

- ① 持っていると思う
- ② 持っていないと思う

問22 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。

- ① 期待する
- ② 期待しない

問23 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか。

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| ① 清潔さ | ④ リーダーシップ | ⑦ 人柄 |
| ② 政策立案能力 | ⑤ 庶民感覚 | ⑧ その他 () |
| ③ バランス感覚 | ⑥ 国民への説明能力 | ⑨ 特にな |

問24 あなたは、安倍晋三内閣をどう評価しますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 支持する | ③ どちらかといえば支持しない |
| ② どちらかといえば支持する | ④ 支持しない |

問25 あなたは、どの政党を支持していますか。

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| ① 自民党 | ④ 共産党 | ⑦ 新党日本 |
| ② 民主党 | ⑤ 社民党 | ⑧ その他の政党 () |
| ③ 公明党 | ⑥ 国民新党 | ⑨ 支持する政党はない |

<ご協力ありがとうございました>
これからお伺いする事柄は結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、引き続きご記入くださいますようお願い申し上げます。

F 1 出身地 ① 県内 ② 県外 (都道府県)

F 2 性別 ① 男性 ② 女性

F 3 年代 ① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70歳以上

F 4 組織 ① 企業 → F 5、6、7へ
② 自治体・団体 → F 7へ

F 5 (F 4で「① 企業」とお答えの方へ) 御社の業種

<製造業>

- ① 食品・飲料・酒
- ② 繊維・衣服
- ③ 木材・木製品・家具・紙・パルプ
- ④ 印刷・出版・製本
- ⑤ 化学・石油・プラスチック・ゴム
- ⑥ 鉄鋼・非鉄・金属
- ⑦ 一般機械・輸送機械
- ⑧ 電気・情報通信・精密機器・電子部品
- ⑨ その他 (具体的に)

<非製造業>

- ⑩ 建設・設備・不動産業
- ⑪ 電気・ガス・水道
- ⑫ 運輸・情報通信
- ⑬ 卸・小売業
- ⑭ 金融・保険・証券
- ⑮ サービス業
- ⑯ 医療・福祉・教育・学習支援
- ⑰ その他 (具体的に)

F 6 資本金 ① 3千万円未満 ④ 5億円～10億円未満
② 3千万円～1億円未満 ⑤ 10億円以上
③ 1億円～5億円未満

(全員の方に)

F 7 御社の規模 (県外を含む常用勤務者数)

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 50人未満 | ④ 300人～1000人未満 |
| ② 50人～100人未満 | ⑤ 1000人以上 |
| ③ 100人～300人未満 | |